



The 38th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

第38回

日本神経科学大会

2015年7月28日(火)-7月31日(金)
July 28-31, 2015



神経科学を極める

Back to Basics for Future Neuroscience

<http://www.neuroscience2015.jnss.org/>

会場/神戸国際会議場、神戸国際展示場
Kobe Convention Center, Port Island

大会長/柚崎 通介 慶應義塾大学医学部生理学教室
President/Michisuke Yuzaki
School of Medicine, Keio University

一般演題募集期間

2015年1月8日(木)-2月6日(金)正午

事前参加登録期間

前期:2015年1月8日(木)-4月30日(木) 後期:2015年5月1日(金)-6月25日(木)

7月28日(火)

プレナリーレクチャー

David M. Holtzman (Knight Alzheimer's Disease Research Center, Washington University)

Carla J. Shatz (Stanford University)

シンポジウム

Probing synaptic circuit assembly and its operations in the era of connectomics
見学 美根子/林(高木) 朗子

時間認知の神経機構

林 正道/Domenica Buetti

温度と生命機能 ~末梢センシングから中枢病態まで~

中村 和弘/富永 真琴

意思決定の神経メカニズム:知覚・価値判断研究の最先端

宇賀 貴紀/鮫島 和行

全神経系の活動イメージングによる脳機能の俯瞰的な理解へ

飯野 雄一/石原 健

神経科学に立脚したニューロリハビリテーションの最新動向 (リハビリテーション医学会合同シンポジウム)

正門 由久/牛場 潤一

アルツハイマー病の病態生理学: 神経変性と記憶障害をつなぐ機構

竹原-西内 可織

神経ネットワークの情報伝達におけるオシレーションの解析への新しいアプローチ

森島 陽介/北城 圭一

Back to basics. Neurobiology of the social brain

Keise Izuma/Steve Chang

小脳研究における Top-down 型/ Bottom-up 型アプローチとその融合

加藤 明/山崎 匡

回路が生む活動、活動が生む回路-神経活動による情報処理と回路形成の最先端

畠 義郎/田川 義晃

脳の構造と機能の創出原理:細胞間相互作用から個体間相互作用・環境ストレスまで

川内 健史/野村 真

なぜ食べるのか?食の嗜好性・報酬性と拒食のメカニズム

佐々木 努

Pericytology 周皮細胞と神経病態

一微小環境に眼をむける-(基礎-臨床連携シンポジウム)

小野寺 理/猪原 匡史

ゲノム・神経科学的アプローチによる精神疾患のバイオマーカー開発 (基礎-臨床連携シンポジウム)

岩本 和也

7月29日(水)

プレナリーレクチャー

彦坂 興秀 (National Eye Institute, National Institutes of Health)

教育講演

饗場 篤 (東京大学) 喜多村 和郎 (山梨大学)

シンポジウム

神経回路形成におけるシナプス刈り込みの新知見
西山 洋/掛川 渉

感覚と行動を支える神経回路の計算とメカニズム

風間 北斗/Andrea Benucci

脳の統合的理解を目指した小動物用高磁場MRIの活用

釣木澤 朋和/高田 則雄

Wiring Inhibitory Synapses and Circuits

Katsuhiko Tabuchi/Jaewon Ko

睡眠と連関する神経細胞・回路・行動

村山 正宜/山中 章弘

大脳皮質線条体回路の臨床および展開 (精神神経学会・生物学的精神医学会合同シンポジウム)

三村 将/田中 謙二

Non-coding repeat病:RNAと蛋白質代謝のクロストークが織り成す病態

永井 義隆/石川 欽也

糖鎖科学との融合研究から見えてきた神経機能の新たな制御機構

宮田 真路/山下 俊英

質感認知の神経基盤理解の最前線

小松 英彦/西田 真也

ミクログリアの基礎と精神医学

野田 百美/Uwe-Karsten Hanisch

記憶貯蔵と想起制御研究の最前線

林 康紀/Paul Frankland

産学連携シンポジウム

本田 学/萩原 一平

胎生期・新生期の自律性活動から見た神経回路発達とその臨床的意義

荒田 晶子/諸隈 誠一

モデル脊椎動物ゼブラフィッシュの行動とそれを司る神経回路

川上 浩一/Florian Engert

マルチモダリティMRIによる精神症候の脳病態解明から臨床応用へ (基礎-臨床連携シンポジウム)

山末 英典

Cutting-edge research of Parkinson's disease (基礎-臨床連携シンポジウム)

望月 秀樹/戸田 達史

7月30日(木)

プレナリーレクチャー

Thomas C. Südhof

(2013 Nobel Laureate; Stanford University)

教育講演

川人 光男 (脳情報通信総合研究所) 松田 道行 (京都大学)

シンポジウム

脳地図の作成 -構造から機能まで-

岡野 栄之/岡部 繁男

プレシナプス機能解明への最前線

持田 澄子/高森 茂雄

新しいグリア機能解析手法で紐解く脳疾患メカニズム

金丸 和典/繁富 英治

生後環境による神経ネットワークの形成と成熟

山本 亘彦/Edward S. Ruthazer

発達・障害に伴う神経再編

榎本 和生/澤本 和延

神経内分泌学の新潮流 -オキシトシン、CRH、ステロイドの多様な作用

西 真弓/西森 克彦

皮質GABA細胞の異常と精神神経疾患

中沢 一俊/橋本 隆紀

New approaches to monoaminergic pathways underlying neuropsychiatric disorders

-The 5th Japan-Canada Joint Symposium-

Anthony Phillips/Michisuke Yuzaki

脳脊髄液を用いた精神・神経疾患のバイオマーカー研究の進歩

功刀 浩

手:その感覚運動機能への新たなアプローチ

関 和彦/Roland Johansson

中枢神経シナプス発達の新たな分子メカニズムの探求: 神経・精神疾患のさらなる理解のために

高橋 秀人/松田 恵子

神経科学における意識研究の現状と将来への展望

金井 良太/入来 篤史

中枢神経におけるmicroRNAとエピジェネティック変化

行武 洋/疋田 貴俊

ナビゲーション~先端的多次元計測を用いたナビゲーションのための情報処理メカニズムの解明~

小川 宏人/飛龍 志津子

理論系と実験系の両面から迫る脳機能

松田 信爾/檜森 与志喜

特別教育講演 下條 信輔 (California Institute of Technology) 水島 昇 (東京大学) 宮川 剛 (藤田保健衛生大学)

7月31日(金)

革新脳共催シンポジウム 「革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明にむけて」 宮脇 敦史 (理化学研究所)、岡野 栄之 (慶應義塾大学)ほか

市民公開講座 「脳科学の達人(仮)」 研究者も必見!神経科学を極めんとする若き研究者たちによるスーパー・プレゼンテーション!
林(高木) 朗子、土谷 尚嗣、池谷 裕二ほか